

平成26年10月21日開催の部長会議の報告をします。

部長会議報告書

平成26年10月21日
3階第2会議室 9:15～

1. 課題・議題等提案

教育委員会

I. 桑名市における不登校の現状と取組みについて

1) はじめに

- ・「不登校児童生徒」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたものと定義している。

2) 現状と取組

- ・桑名市の不登校児童生徒の現状は、小学校では全国・三重県と同じ割合で推移している。
- ・中学校では、全国・三重県より少ない傾向にあり、経年変化もあまりない。
- ・毎年小学校・中学校合わせて100人程度となっている。
- ・全国的には、不登校を理由とする長期欠席児童・生徒数はおよそ12万人で、全児童生徒数に占める割合は1.17%となっている。
- ・桑名市の取組としては、桑名市適応指導教室（桑名市ふれあい教室）において、学校にいけない生徒に対し、心身の安定と、自分らしさを育むための援助・指導を行っている。
- ・通級数は、毎年20名程度であり、最終的に75%の生徒が復帰、または進学をしている。
- ・適応指導教室を新しく明るい場所に移転したことにより以前よりも掃除を一生懸命したり、物の扱いを大切にしたりする様子が感じられるようになっている。
- ・適応指導教室担当者2名が、年に6回各校を訪問し情報交換や相談を行っている。
- ・教員や心の相談員を対象に、事例検討会を開催し、不登校への対応の仕方について研修を行っている。
- ・「Iあいフレンド」という取組として、3名の大学生や心理士などが、登校できずに家にとじこもりがちな児童生徒に対し、家庭を訪問し登校刺激などを行う事業を行っている。
- ・教育相談として、ふれあい教室などで先生や保護者を対象とした相談体制を整えている。
- ・全小学校に心の相談員を配置するとともに、スクールカウンセラー（小学校25校・中学校10校）を配置し、相談体制を整えている。

3) 課題と今後の見通し

- ・不登校は、「特定の子どもに特定の問題があることによって起こることではなく、どの子にも起こりうることとしてとらえること」が必要である。
- ・不登校を「心の問題」としてのみとらえるのではなく、「進路保障の問題」としてとらえ、将来的な社会自立に向けての支援が必要である。

- ・不登校に対する早期発見・早期対応の取組とともに、不登校の未然防止、不登校にならないための対策を講じることが必要である。
- ・一度不登校になった後でもきめ細かな対応によって、学校復帰や進学することが可能であることや、学校のみでは限界があることから、適応指導教室の役割を十分に踏まえ今後も、不登校生徒児童への取組を進めていく。

II. 桑名市立図書館の取組みについて

1) 現状

- ・桑名市立中央図書館は、平成16年10月に日本初のPFI方式で開館し、今年度で10年目を迎える。
- ・同館のPFI事業は桑名メディアライヴ㈱が施設を設計、建設、所有しており、契約で定められた維持管理と運營業務を30年間遂行後、所有権が桑名市に無償譲渡されるBOT方式で運営されている。
- ・PFI事業者である桑名メディアライヴ㈱は建設の鹿島建設、IT関係の三重電子計算センターなど6社で構成されており、図書館については㈱図書館流通センター（TRC）が担当している。
- ・サービスの履行確認については、定期的なモニタリング、市民モニター、利用者アンケート等を用いて、多角的な確認・指導を行っている。
- ・図書館のサービス部門をTRCに委ねたことから、市職員は、児童サービスとしての「ゆめはま文庫の貸出しや学校と連携した「子ども読書活動推進事業」の実施など、図書館活用の推進に力を傾けている。
- ・また、「歴史の蔵」や「地域アーカイブス」など図書館が行う郷土・地域行政資料の収集・保存、展示により、市民や行政各部門が必要とする資料の情報提供を行っている。
- ・同館は、「いつでも、どこでも、だれでも利用できる図書館」を基本理念に、開館時間の大幅な延長（午後9時）、開館日数の増加（年間300日）により、利用者数や図書の貸出冊数は旧図書館に比べて大きく増加している。
- ・ふるさと多度文学館は、3館の中では一番歴史が長く平成8年10月に開館し、「本と人、人と人との出会いの広場」をキャッチフレーズで地域性を活かしたイベントや講座を実施し、人々の交流の場となるような図書館運営を実施している。
- ・長島輪中図書館は、複合施設ながしま遊館の中心施設として、平成18年4月に開館し、「くらしの中に図書館を」モットーとし、乳幼児からお年寄りまで多くの人々が出会い、ふれあい、語り合いながら、“情報を得る場”、“やすらぎの場”、“文化創造の場”となることを目指して図書館運営を実施している。
- ・この3館の図書館は、平成18年4月から各館の図書システムをネットワークでつなぎ、1枚の利用券で市内3館のどこの図書館でも貸出、返却、予約の受付ができるようになっている。
- ・本年10月からは、図書館システムの更新により、SDI（登録したキーワードに関する

新着情報をメールでお知らせする機能)やMyライブラリー(図書館の本を自分だけの「本棚」として登録できる機能)、第一法規が提供する法情報総合データベースサービス「D1-Low」が追加されている。

- ・昨年度の桑名市立3図書館の利用状況は、入館者数約89万人(1日平均3,089人)、貸出冊数約121万冊(市民1人当たり8.5冊)と多くの市民の方にご利用頂いている。
- ・「ゆめはま文庫」は、桑名市版「ブックスタート事業」として平成23年度からスタートし、毎年度順調に貸出冊数を増加させている。
- ・赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけ作りができていると考えている。
- ・平成24年度の図書館統計によると、人口10万人から15万人未満の107都市中、蔵書数では20位以内に入っていないが、貸出冊数は10位で県内においても2番目に多くの市民の方々にご利用頂いている。

2) 課題

- ・課題として主なものは以下の4点である。
 - ① 図書館利用者の増加、本の利用拡大に向けた取り組み。
 - ② 自主財源確保のため現在募集している雑誌サポーター制度の周知。
 - ③ 地域の公共図書館として所蔵する郷土・地域行政資料の収集・保存・活用。
 - ④ 進化するIT技術革新など、必要なサービスを見極め、的確に対応していくか。

3) 今後の取り組み

- ・図書館の利用者拡大のため、今後も県助成金等を有効に活用した新しい企画・イベントを計画し、魅力ある図書館運営を図っていく。
- ・雑誌広告事業では、ポスターを作成しPRするとともに、募集要項の見直しを行っている。
- ・郷土資料や行政資料については、桑名市の今を語り、これからを考える貴重な素材となる可能性を備えている情報であるため、各行政部門と連携を取りながら郷土・行政資料の収集と保存・公開を行い、積極的に市内外へ情報発信していく。
- ・社会情勢の変化や利用者のニーズに対して的確に対応していくために、職員やスタッフの一人一人の資質を向上させていくことが大切である。

2. その他

1) 地球温暖化対策に資する事業への協力について(経済環境部)

- ・日頃から事務事業における環境配慮の取り組みである「桑名市省エネオフィスプラン」にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

○「大規模HEMS 情報基盤整備事業」に伴うHEMSモニター参加のお願い

- ・現在、KDDI株式会社が本市において、家庭におけるエネルギーマネジメントを手助けするHEMS(Home Energy Management System:家庭用エネルギー管理システム)を使った実証事業のモニターを募集している。

- ・本事業は、全国約 14,000 世帯の参加を前提とした大規模な実証事業であり、東日本電信電話(株)、KDD I(株)、ソフトバンク(株)、パナソニック(株)の 4 社共同の事業で、本市においては KDD I(株)が 3,500 世帯を対象にモニター世帯を募集している。
- ・この事業推進の協定を 9 月 1 日、KDD I(株)、三重県と締結している。
- ・この事業の趣旨をご理解いただき、桑名市在住の職員の皆さんに率先してモニターとして参加していただくようお願いをする。
- ・事業の理解を深め、事業周知を図るため、地球温暖化防止推進員(66 名)を対象に 10 月 31 日(金)、午前 9 時から 5 階中会議室にて説明会を開催するため、各所属長におかれましては、出席のご配慮をお願いしたい。

○超小型モビリティ(U L V)の安全運転講習の開催について

- ・NTN株式会社から超小型モビリティを公用車として借り受け、社会実証実験を実施する。
- ・特殊な車両であるため、運転講習の受講が必須となっている。
- ・10月31日(金)のHEMS説明会のあと、地球温暖化防止推進員を対象に安全運転講習会を行い、広く職員に活用いただきたいと考えている。
- ・車両については環境政策課にて管理することとなる。

2) 新桑名市誕生10周年記念式典への職員の動員について(市長公室)

- ・新桑名市誕生10周年記念式典について、12月5日(金)にリハーサルを行い、12月6日(土)に式典を開催する。
- ・動員体制については、全体で75名程度を予定しており、職員の方のご協力をお願いしたい。
- ・詳細については、近日中に各部課長へ依頼させていただく。